

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立 高砂小学校

教育目標 たくましく かしこく さわやかに
 一個の確立と公の発展をめざす子の育成—

校訓：「明るく 仲良く 進んで」

職場訓：『「共働共励、共に育つ」の精神を基に、自分の家族を
 通わせたい学校をつくる』

「浦和のさかえに歴史をほこる」おかげさまで開校 150 年



■所在地：さいたま市浦和区岸町4丁目1番29号 ■電話：048-829-2737
 ■FAX：048-835-1260 ■交通：JR浦和駅 西口徒歩3分

01 「つなぐ」「いかす」に重点を置いた学びの創造



本校では、「みんなが取り組み 進んでいかす学びの創造」を目指し、日々授業改善に努めています。それを高いレベルで実現するためには、集団づくりが欠かせません。

目標17のターゲットは主に多様な価値観を認め合いながら協力することです。

私たちは、教室という小さなサイエティに多様な価値観を認め合う環境を整え、前向きなやる気が湧き、新しい価値観や発想が生まれる雰囲気をつくっていきます。

また、児童が自ら考え、議論し、行動を重ねることで、チームの力を高められるように支援します。



02 健やかな身体を養うために



高砂小 オリジナルキャラクター
 歯っぴーちゃん

本校では、心身ともに健康な児童をはぐくむために、歯と口の健康づくり活動や学びある給食を柱として、健康教育を行っています。

一人ひとりの生涯にわたる健康づくりの基礎を培うために、毎月8日を「歯の日」として、歯ブラシチェックや歯のみがき方の確認を行っています。また、家庭での親子歯みがきテストの実施、年間計画に基づいた授業の実施などにも取り組んでいます。児童健康委員会では、「歯みがき指導隊」や「きらきらピカピカ集会」などの活動を通じて、よりよい歯のみがき方を全校に呼びかけています。

食育では、毎日の給食を通じて、食材そのものや食に関わっている人への感謝の気持ちをほぐくみ、食べることを大切にする給食指導に取り組んでいます。児童給食委員会では、月1回の「かみかみ高砂の日」の浦立と関連させ、かむことを切り口とした食に関する様々なテーマについて、放送で全校に呼びかけています。

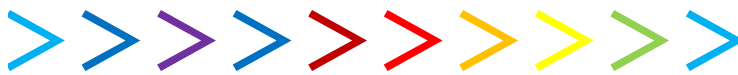
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs教育を推進しています。

さいたま市立

常盤小学校



心身ともに健康で 思いやりの心を持ち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成
「喜んで登校、満足して下校」

児童一人ひとりが、「学ぶ楽しさ」を実感し、
「喜んで登校、満足して下校」ができるように
教育活動を推進しています。



■所在地：さいたま市浦和区常盤9丁目30番9号

■電話：048-831-2349

■FAX：048-835-1354

■交通：JR 京浜東北線 北浦和駅 徒歩 10分

01 思考の深化につながる主体的な学習活動のために



「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行い、知識の

理解の質を高めるとともに、特に思考力の育成に努めることで、SDGsを意識した教育活動を展開しています。非認知能力の育成を図る道徳教育の充実や、ICT機器の活用、カリキュラム・マネジメントの充実による教科等横断的・学年等縦断的な視点に立った資質・能力の育成に努め、児童が「本気で学び」、学ぶ楽しさを実感できる教育実践に取り組むことで、目標4「質の高い教育をみんなに」を中心にSDGsの目標に貢献しています。



02 安心・安全な学校生活のために



児童一人ひとりのよさを生かし、「自己実現を図る力」をはぐくむ教育活動

として、学習指導と関連付けながら生徒指導を充実させ、励ます指導を展開することで、目標10「国内および国家間の格差を是正する」などに取り組んでいます。目標2、5とも関連して、安心で安全な社会の実現のため、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教を推進するとともに、いじめや不登校問題には「組織で対応100%」を掲げて対応し、常に正確な情報を把握するように努めています。また、SCやSSWとの連携を図り、教育相談を充実させ、児童のみならず、保護者にとっても「安心で安全な学校」を目指しています。

03 地域と連携し「郷土を愛する心情」をはぐくむために



各教科等の特質に応じた体験活動を、意図的・計画的・継続的に実施し、資

質・能力を偏りなく育成するとともに、学校研究の社会科・体育科の充実を通して、児童の地域に対する誇りと愛情を育成していきます。目標11「住み続けられるまちづくり」などに関連して、地域とともにある学校づくりを推進するとともに、「常盤で子どもを育てたい」との期待に応えてまいります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 木崎小学校** > > > > > > >

学校教育目標
 自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成
 ・すすんで考える子
 ・礼儀正しい子
 ・がんばる元気な子
 開校149年目の歴史ある学校です。



■所在地：さいたま市浦和区領家4-19-4 ■電話：048-831-2281
 ■FAX：048-835-1351 ■交通：JR京浜東北線北浦和駅、与野駅下車徒歩15分
 または北浦和駅よりバス領家交番下車徒歩5分、木崎小学校下車徒歩2分

01 地域を生かした学校づくり



本校は学区の北端を見沼代用水西縁が流れ、見沼たんぼにも隣接しています。貴重な自然を残す見沼たんぼにおいて本校では2年生の生活科や4年生の総合的な学習の時間で見沼たんぼを訪れ、見沼たんぼの自然を学習しています。また、3年生がみぬま見聞館で自然体験学習を行ったり、学校のプールで「ヤゴ救出大作戦」を行ったりしました。これらの経験を基に、4、5、6年の社会科、理科でSDGsを意識した授業を行い、目標6「安全な水とトイレを世界中に」、目標14「海の豊かさを守ろう」、目標15「陸の豊かさも守ろう」に貢献したいと考えています。

02 「食育」と各教科の連携



本校では毎日「給食ニコニコ豆知識」を発行し、食育の理解を深めています。読書週間のコラボメニューや、6年家庭科でのメニューづくりなど教科、領域との連携を図り、5年社会科において「持続可能な食料生産」を考えていきます。

03 SDGs に関連する授業の推進と教育環境の整備



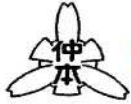
学年のSDGsに関する単元を明確にし、各教科での授業実践を行っていきます。6年生では学んだ事を振り返り、地球環境や社会的課題などから具体的な課題を見つけ解決への方策を紹介し合います。SDGsに関心を持ち

実践することで、課題解決のために行動できる子を目指します。また、ユニバーサルデザインを取り入れた教室掲示を全校で統一し、全ての子どもが楽しく学び合い「わかる・できる」ようになることを目指していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

仲本小学校



『桜と太鼓の仲本小学校』

～ 明日が楽しみ 仲本小 ～

- 1 「進んで学習する子・思いやりのある子・明るく元気な子」という学校教育目標の具現化に向けた、一人ひとりの子どもの個性や人権を尊重した教育活動の推進
- 2 児童会を中心に「SDGs 仲本バージョン」を提案し、自分にもできることから始める取組を始めています。



■所在地：さいたま市浦和区本太 2-1-2-3-1

■電話：048-882-3008

■FAX：048-811-1331

■交通：JR京浜東北線浦和駅東口徒歩5分

01 自分たちにもできる【SDGs 仲本小バージョン】



代表委員が新年度が始まった時期に集まり、児童自身が考えた、「今の自分たちにもできる【SDGs 仲本小バージョン】17この中から、紹介します。



貧困をなくそう

⇒一人にいる人に声をかけ、一緒に遊ぼう

飢餓をゼロに

⇒自分が食べられる量を考え、苦手でもあと一口！



02 SDGs を学び、考えよう！



2学期の始めに 01 をふまえ、再び代表委員が集まり、どの委員会がどんな取り組みができるか検討しました。その後、各委員会に持ち帰り話し合い、さらに全体で調整し、各委員会の目標を決定しました。



調整後、全校児童に周知するために、児童会の掲示版を用いてお知らせしました。児童の目に留まり、日常生活の意識づけとなっています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 本太小学校** >>>>>>>>>>

学校教育目標 ～知・徳・体の調和のとれた子の育成～かしこい子・心の豊かな子・たくましい子

学校経営方針 「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校」
～ すべては、未来に生きる子どもたちの幸せのために ～

○笑顔あふれ、規律ある学校
・児童一人ひとりの Well-Being (幸せ) を大切に、生徒指導・教育相談を充実させると共に、安全で美しい教育環境を整えることで、他者と豊かにかかわり、節度のある児童を育成する。

○磨き合い・学び合い・高め合える学校
・「さいたま市スマートスクールプロジェクト」を最大活用することで主体的に考え、行動し、豊かに交流できる児童をはぐくむ教育活動を推進する。

○組織力を十分に発揮できる学校
・教職員一人ひとりが互いを尊重し、支え合いながら教育実践を推進する。
また、教育活動を積極的に公開していくことで、児童・保護者・地域に信頼される開かれた学校をめざす。



■所在地：埼玉県さいたま市浦和区本太2丁目26-25 ■電話：048-882-3007
■FAX：048-811-1333 ■交通：JR 浦和駅東口から徒歩 10 分

01 豊かな心をはぐくむ実践



令和3年度より、学校課題研究として「人としての生き方についての考えを深め、よりよく生きる児童を育てる道徳教育の推進」を主題に設定し、道徳教育の研究を行っております。

「自己の生き方を考え、主体的な判断のもとに行動し、自立した人間として他者とよりよく生きるための基礎となる」道徳性を養うためには、教育活動全体を通して道徳教育を充実させる必要があります。

本年度は、SDGs 教育との関連を更に深めることによって、より一層教科横断的な視点から道徳教育を充実させることで、差別をなくし、平和や公正を大切に作る心をはぐくみます。



02 一人一鉢活動



本校では、一人一鉢活動を実施しています。一鉢の花を育てることで、生命の尊さを学び、豊かな心をはぐくむとともに、自らの力で自らの環境を改善していくとする姿勢をはぐくんでいます。

また、栽培委員会の児童が中心となり環境維持活動を行ったり、5年生の総合的な学習の時間で環境について考えたりと、子どもたちが主体的に環境保護について考えていけるようにしています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。

> **さいたま市立 北浦和小学校** >

本校は、76年目を迎えた地域と共に歩む学校です。

- 1 学校教育目標「進んで学び 高め合う 北小の子」のもと、伝統と創造、日本の若い力を育てる学校を目指します。
- 2 「あかるく なかよく すこやかに」を合い言葉として、よく考え進んで学ぶ子、心豊かで思いやりのある子、明るく健康でたくましい子、を育てます。
- 3 「感謝と貢献」一人ひとりが幸せになる学校を経営理念とし、教育活動を推進していきます。

■所在地：さいたま市浦和区北浦和小学校 ■電話：048-831-2463
 ■FAX：048-835-1352 ■交通：JR北浦和駅東口 徒歩6分

01 総合的な学習の時間を通して、育てるボランティアマインド



4年生では、総合的な学習の時間に「福祉」について学習しています。体の不自由な人の目線に立ち、白杖体験、車いす体験を行いました。体験をした児童は、初めての感覚や普段歩いているところが不便になっていることに気づき、みんなで気持ちよく過ごすためには、どうすればよいのかを考えることができました。児童一人ひとりが、自分と周りの人たちと共に過ごすための工夫をまとめた発表を考えています。差別することなく社会生活の中で支え合い、一人ひとりが生きる喜びを感じることができるよう「ともに生きる力」を育てていきたいと思いを。

02 夢のある未来を切り拓き、たくましく生きる児童の育成



本校では、さいたま市教育委員会の委嘱を受け、平成29、30、31年度に体育科、特別活動を通してオリンピック・パラリンピック教育の研究を推進しました。東京オリンピックのマスコット候補について議論したり、東京パラリンピックを目指す選手を招き、義足体験を行ったりしました。研究テーマのもと授業実践を重ね、「スポーツの価値」「多様性の尊重」「ボランティアマインド」「日本文化への関心」「豊かな国際感覚」を育みながら、児童が主体的・対話的に学び授業を追究してきました。今年度はそれらを生かし、さいたまSTEAMS教育の研究を通じ、自分の思いや考えを伝え学び合う力を伸ばすための研修を行っています。

03 毎日の食事をしっかりと食べることが、世界を変える第一歩



10月16日の「世界食糧デー」に合わせて、給食委員会の児童による昼の放送で「十分な食事が食べられていない人を救うための食事をできるだけ残さず食べよう」という呼びかけを実施。さらに、食品ロスによる環境への負荷が干ばつや洪水などの異常気象を起こしてしまうことも紹介しました。

また、本校の広報誌において、「食品ロス」をテーマに、7月に残された残菜量を紹介させていただきました。学校の残菜をなくすためには、一人ひとりが「もう一口だけ」食べればよいのだという気づきにつながりました。毎月19日は「地産地消の日」。さいたま市内で収穫された米と小松菜を使った給食を提供し、給食の時間に栄養教諭が各学級を回り、さいたま市の農家さんが作ってくれた米と小松菜を使用していることを説明すると、児童は「おいしい」と言って食べていました。今後も地産地消を意識したおいしい給食を通して食品ロスについて考え、残菜量を減らしていけるよう工夫した取組を行っています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
仲町小学校



- 1 明るく 正しく たくましく「自ら学び、共に生きる子どもの育成」の学校教育目標のもと、児童一人ひとりが輝く教育活動を推進しています。
- 2 「笑顔が輝き、あいさつが響き合う仲町小」の合言葉のもと、保護者・地域・学校の3者が手を取り合い、子どもたちの健やかな成長を目指しています。
- 3 開校72年を迎える、緑豊かな学校です。



■所在地：さいたま市浦和区常盤8-18-4 ■電話：048-831-4781
 ■FAX：048-835-1355 ■交通：JR 浦和駅徒歩20分 北浦和駅徒歩15分

01 児童の安心・安全な生活のために



本校では、1年生と3年生の児童を対象に「交通安全教室」を実施しています。浦和警察署の方や、浦和交通安全協会の方、さいたま市交通指導員浦和支部の方などをお招きし、1年生は「歩行教室」、3年生は「子ども自転車免許」の教室を行っています。この教室を通して、交通安全についての意識の高揚を図り、子どもたちが安全に生活できるようにしています。

また、緊急時や災害時を想定した一斉下校や引取り訓練を実施するとともに、地震や火災、竜巻を想定した避難訓練を行っています。5・6年生では、心肺蘇生法の実習を保健の授業で行い、けがなどの状況をできるだけ速やかに把握して処置すること、近くの大人に知らせることが大切であることを理解できるようにしています。

02 児童の豊かな未来のために



本校では、6年生児童を対象に毎年「租税教室」を実施しています。さいたま市の税理士団体の方をお招きし、小学生に「税」についての理解を深めることを目的として行っています。この学習を通して、税はどのようにして使われるのか、どのように自分たちの生活とつながっているのかを学ぶ機会となっています。また、納税は国民の義務であり、平等に徴収されることを知ることで、税制、社会保障制度にも興味・関心をもち「平等」についての視点をもたせられるようにしています。また主権者教育の一環としても取り組んでいます。さらに今年度は、5年生児童を対象に「金融経済教育」を実施し、金融経済の知識の習得、よりよく生きていくことについて主体的に考える力の育成を図ります。

03 児童と地域のよりよい生活のために



本校では、4年生の「総合的な学習の時間」で「みんなにやさしい暮らし」というテーマのもと、誰もが住みやすいと感じる暮らしについて調べる学習を行っています。学習の中で、アイマスク、白杖、車椅子、高齢者疑似体験も実施しています。これらの体験を通して、高齢者や障害のある方の生活の仕方にふれ、様々な立場で暮らす人がいることに気づき、自己の生き方を考えるとともに進んで地域と関わることを学ぶようにしています。

5年生では、「ブラインドサッカー」体験を行い、障害のある人もない人も混ざり合って一緒に楽しむことを実感しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
上木崎小学校



学校教育目標 『心身ともに健やかな子の育成』

目指す児童像

やさしく	かしこく	たくましく
思いやりのある子 (豊かな心) Growth	自ら学び考え、表現する子 (問題解決能力・表現力) Global	力強く活動する子 (健康な体力) Grit



■所在地：さいたま市浦和区上木崎 3-4-3 ■電話：048-831-3879
■FAX：048-835-1350 ■交通：JR 与野駅東口徒歩 10 分

01 心豊かな児童の育成と安心して生活できる環境づくり



本校では、これまでの道徳教育の研究を活かし、「思いやりの心をもち、相手のことを考える子」(やさしく)、「自分で考え判断し、進んで行動する子」(かしこく)、「自分を

見つめ、自信をもって前向きに取り組む子」(たくましく)の育成を目指しています。特別の教科・道徳の授業では「多面的・多角的な見方・考え方ができる」「自己の生き方について考えを深める」ための「考え」「議論する」授業を実践するとともに、授業後の自分の生活について見つめ直す「心の時間」を設けています。各教室には、友達に言われて嬉しかった言葉「あったか言葉コーナー」を設置し、いじめや差別をすることなく、互いを思いやる言葉や行動意識を高める取組を実施しています。



02 地域社会との連携と、主体的な学習を促すための取組



社会福祉協議会(民生委員児童委員・主任児童委員)と連携し、9月の敬老の日に合わせて「敬老会参加者へのお手紙」を2年生～6年生の児童全員が手紙を書いてお渡しし、地域の高齢者との交流を深めています。また、総合的な学習の時間「人にやさしい町へ」において、新都心ふれあいプラザを活用した、体の不自由な方の疑似体験(アイマスク・車いす体験)を実施しています。そして、自分たちの町のバリアフリー、ユニバーサルデザインを見つけ出すとともに、地域の人々がさらに快適に生活できるようにはどのような工夫が必要か、自分たちにできることを考え、地域社会への意識を高めています。

03 学習活動を環境問題と関連付けた取組



6年生の家庭科の学習を生かして、それまでに習得した技能を生かして「エコバッグ」を製作しています。製作した「エコバッグ」を全校の各学級に配布し「ペットボトルキャップ回収袋」等として利用してリサイクル活動促進を図る活動に取り組んでいます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立

岸町小学校



学校教育目標 豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成

～かしこく やさしく たくましく なかよく～

岸町小学校は、児童一人ひとりのよさを大切にすることを重点に教育活動を展開しています。また、体験活動を多く取り入れた協働的な学びや、1人1台タブレットを活用した個別最適化した授業の充実を目指します。そして学校・教職員・保護者・地域の存在意義を考え、多くの人と絆が深められる学校を目指しています。

■所在地：さいたま市浦和区岸町 5-20-4 ■電話：048-862-4320 ■FAX：048-836-1576

■交通：埼京線武蔵浦和駅・京浜東北線浦和駅徒歩 15 分

01 総合的な学習の時間を核とした ESD の推進



本校では、4年生の総合的な学習の時間において「福祉」に関する内容を、5年生の総合的な学習の時間において「環境」をテーマに取り組んでいます。4年生では、自分たちに身近な特別支援学級の友達との交流を通して、互いのよさや違いを認め合うことの大切さに気づき、自他との関わり方を見つめ直す機会にしています。また、そこから視野を広げ、身体的にハンディキャップのある方々の生活について学習します。実際にアイマスクや車椅子の体験を行うことで、より理解を深められるようにしています。そういった体験的な活動を通して学んだことを基に、「共生」について考えています。学習したことは、最終的には新聞等に発表します。5年生の環境では、まず地域における「環境を守るための取組」について調べ、そこから自分たちに身近な課題について考えます。その課題を基に、「自分でできるエコ活動」を考え実践します。エコ活動は、水や空気、森林や消費に関するものなど、個人の興味・関心に合わせて様々です。最終的には、児童が考えた取組を「エコ新聞」にまとめて発表します。

02 学校ファームの活用と食育の充実



学校ファームを活用して特別支援学級の子どもたちがじゃがいもやさつまいもの栽培・収穫を行っています。栽培委員会では、ヨーロッパ野菜を栽培し、収穫した野菜は給食で提供されます。その珍しい野菜や種が、新聞に取り上げられたこともありました。給食委員会が放送でヨーロッパ野菜のクイズを出し、低学年の児童も楽しんでヨーロッパ野菜に親しんでいます。スイスチャードやカーリーノケルのサラダ等、珍しい形や色の野菜に初めて触れる児童も、「おいしい！」と舌鼓を打っています。

環境委員会では、SDGs17の目標「作る責任・使う責任」について取り上げ、せっかく作ってもらった食料や給食を残さないために、自分たちに持続的にできる活動について考え発表し、全校に広めました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
針ヶ谷小学校



- 1 「豊かな心を持ち たくましく生きる児童を育成する」を学校教育目標とし、児童一人ひとりが輝く教育活動を推進します。
- 2 「ともに のびよう」の合言葉の下、保護者・地域・学校の3者が手を取り合い、子どもたちの健やかな成長を目指しています。
- 3 緑豊かな学校で、開校65年を迎えます。



■所在地：さいたま市浦和区領家7-2-1 ■電話：048-831-9040
■FAX：048-835-1356 ■交通：JR京浜東北線 与野駅徒歩15分

01 児童の豊かな食生活のために



本校では、普段の給食指導や給食委員会の食育集会などを通して、「食育」の取組を推進しています。その中で栄養のバランスよく食べることや食べ物自体や食べ物をつくってくれる生産者の方に感謝の気持ちをもって食べることを学べるようにしています。また1月には「給食週間」を設定し、児童全員が給食についてのカルタをつくったり、調理員さんにお手紙を書いたりするなどの活動を通して、「食べること」に感謝できるようにしています。今年度も「日本の郷土の味」や「世界各国の味」を給食で提供しながら、さらに「食」について学ぶ機会になるようにしたいと考えています。

02 児童の健やかな成長のために



本校では、「元気あふれる針小っ子」を目指し、健康生活のための生活リズムづくりのため、学期1回「針小っ子 けんこうづくりカード」を用いて生活習慣のセルフチェックを実施しています。めあてに向かって親子で取り組み、一週間の生活習慣を振り返る機会としています。

また、健康委員会の活動等により、「歯と口の健康づくり」に向けた取組を推進しています。6月に健康委員会が「歯の大切さ」をテーマに児童集会で発表をします。普段の歯磨き指導だけでなく、全学年が学級活動でむし歯や歯周病の予防についての歯科授業に取り組みます。他にも低学年は、歯・口の健康に関する図画・ポスターづくりに、3年生以上は歯の健康に関する標語づくりに取り組みます。

03 児童の明るい未来のために



本校では、校地内の学校ファーム農園にて、低学年の生活科の学習の一環で野菜の栽培活動を行っています。特に2年生の学習では、地域にお住まいのゲスト・ティーチャーの協力を得て、大根の栽培を行っています。種蒔き前の土づくりやマルチ張りからお世話になり、昨年度の収穫の際には、売り物顔負けの立派な大根を一人1本ずつ収穫することができました。また、校地内に農園があるため、大根の種から収穫時まで継続して観察活動に取り組むことができ、次年度以降の理科や社会科の学習につながる有意義な学習となっています。本校学区は、マンションが立ち並ぶ住宅地のため、学区内には畑や田んぼはありません。こういった野菜の栽培活動は、本校児童に大変貴重な体験活動となっています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。



さいたま市立
大東小学校



「みんなキラキラ さわやか笑顔の大東小学校を目指して」

- 温かい心が通い合い、子どもたちに豊かな心を培い、夢と希望を育む学校
- 一人ひとりの良さを見つけ、よさを伸ばし、毎日の授業や教育活動を創り出していく学校
- 家庭や地域社会と共に歩み、協働し地域と共にある学校



■所在地：さいたま市浦和区大東3-14-1 ■電話：048-886-7296
 ■FAX：048-811-1330 ■交通：JR北浦和駅より東武バス東瀬ヶ崎バス停下車徒歩10分

01 総合的な学習の時間を核としたSDGsの推進



本校では、総合的な学習の時間において4年生は「福祉」に関する内容を、5年生は「生き方」に関する内容について学習しています。

4年生の福祉では、「共に生きる ～みんなの笑顔のためにわたしたちにできること～」をテーマに取り組んでいます。ゲストティーチャーの方の話や、アイマスク・車いす体験を通して、身近な場所の現状や問題点について気づき、誰もが心地よく生活できることについて考えています。

5年生の「生き方」では「考えよう未来の地球 ～SDGsの達成に向けて～」をテーマに取り組んでいます。まず、SDGsの「17のゴール」について知ることで、地球が抱えている課題を知ります。その課題から心が動いたものを選び、よりよい未来づくりのために、いま自分ができることを考え、友達同士で発表し合ったり、タブレットにまとめたりしています。



02 児童の安心・安全な学校生活



本校では、児童の登校時に、地域の皆様が交通指導員や防犯ボランティアとして、また保護者の皆様が交代で旗振りを行うことで、児童の安全を見守っています。

また、児童会が中心となって、「いじめ撲滅キャンペーン」に取り組

み、全学級がいじめ撲滅スローガンを考え掲示しました。令和4年度は「全国いじめ防止サミット」に代表児童2名が参加し、大東小学校の取組を発表してきました。学校・家庭・地域が一体となり、安心安全な学校づくりに取り組んでいます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立 常盤北小学校

「明日に向かって学び合うひまわりっ子」を目標に、子ども一人ひとりに寄り添いながら、地域から信頼される学校を目指して教育活動に取り組んでいます。



■所在地：さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-12

■電話：048-825-6336

■FAX：048-835-1353

■交通：JR京浜東北線 北浦和駅徒歩 10 分

01 健やかな心と体を育む



本校は歯・口の健康づくりを推進しています。学校歯科医や地域の歯科衛生士と連携した指導を行い、毎年治癒率100%を維持してきました。また、4年生以上の児童には、助産師を招き、性に関する指導を行います。保護者への事前の周知とともに、授業後の児童の様子や感想を記入してもらうなど、家庭との連携も図っています。

02 自ら考え、学び、表現する力を育む



本校では、一人一台タブレットの授業での効果的な活用を進めています。エバンジェリストによる、年6回の情報研修で授業に活用できるアイデアを教職員が共有し、子ども達の思考を広げる授業展開を研究しています。児童一人ひとりが、各自課題をもち、自ら学ぼうとする学習へ展開されています。

03 地域を愛する心を育む



本校は学区がとてもコンパクトです。その特性を生かして2年生の生活科「町たんけん」では、地域の駄菓子屋・中学・交番・会社等、学区内の多様な職業を訪問し、インタビューします。親や教師以外の大人と触れ合うことで、地域への愛着を育むと同時に、地域の人々に児童を知ってもらい、見守ってもらう意味もあります。

また、図書ボランティアを始め多くの保護者や地域の方によるボランティア活動が学校を支えています。